

奈良県再生可能エネルギー等導入推進事業評価委員会 (第2回) 議事要旨

開催日時 平成27年3月5日(木) 16時00分～17時15分

場 所 奈良県経済倶楽部

出席者

- (1) 委員：阪元勇輝委員長、木村玲欧委員、遊津隆義委員
- (2) 県：地域振興部長、エネルギー政策課長、エネルギー政策課職員 3名

議事

- (1) 第二次配分案について
事務局より資料に基づき説明

委員からの主な意見等

委員／事務局	発言内容
委員	市町村から要望の取り下げや留保分が発生しているが、今後のこともあるので、その経緯について教えていただきたい。
事務局	具体的な理由は教えていただけなかった。自分たちが導入したい施設に、県の要件があわないのではないかと思われる。要望が出てこなかった市町村も内部調整の結果、取り下げたとの連絡を受けている。検討はしてもらっていると考えている。
委員	(資料赤字の) ペレットストーブは県からのアドバイスか。
事務局	他県の具体的例や先進事例ということで、ペレットストーブや太陽熱温水器を紹介した。
委員	まったく手をあげていない市町村へ要望調査の案内はされたのか。
事務局	過去に2回、全市町村へ要望調査を実施している。第三次配分の調査時にも、要望が出ていないところも含め調査を行う。
委員	独自の取組はどういうものがあるのか。
事務局	特に多いのが街路灯。避難所までの道に設置するもので、蓄電池付きなので、災害時の夜の避難に適している。

委員／事務局	発 言 内 容
委員	(工夫ある提案を) もっと期待していたが、街路灯が多いのか。
事務局	他には、例えば平群町の火葬場等はおもしろい取組みと考えている。災害時に稼働することが必要な施設であり、近隣市町村と協定を締結されているため「広域」に該当する。
委員	前は小中学校ばかりだったが、今回は工夫されていると思われる。
事務局	橿原市は臨時ヘリポートやごみ処理施設、他の市町村では帰宅困難者受入のための、駅近くの避難所などを要望しており、「地域性」に該当すると判断した。また、道の駅の活用など施設を替えて要望してきたところもある。
委員	木質ペレットの供給は大丈夫か。
事務局	奈良の木ブランド課で実証実験を行っている。
委員	ペレットストーブは災害時だけ使用するのか。
事務局	普段も使う。
委員	供給資源など、県内で循環するようにしてもらいたい。
委員	街路灯は幅広く考えて、災害だけでなく防犯も含めて活用出来るよう考えればと思う。市町村へは三次募集の時に伝える等、広く解釈して、うまく予算を使ってもらいたい。
委員	<p>地域の中では、非日常の防災への対応だけでは成立しない。日常の防犯と非日常の防災、福祉や街づくり、生涯学習と一緒に考える等、防災と連動させて考えていく必要がある。非常時だけの蓄えをしているとならないようにやっていただきたい。</p> <p>基準の「広域」に該当するものは少ないが、「広域」とはどれくらいの範囲を想定しているのか。</p>
事務局	<p>市町村域を越えての協定締結などを想定している。</p> <p>橿原市の臨時ヘリポートなど、市町村の枠を越えて連携するものについて、広域と考えている。隣の町との連携についても「広域」に該当すると判断している。</p>

委員／事務局	発 言 内 容
委員	人口が集中している市町村で、もう少し「広域」に該当する取組があればと思う。防災では市間協定などがある。応募がなかったところにはヒアリングを行う等、手を差し伸べてもらいたい。
事務局	ヒントを出せば案が出てくるかもしれない。今ある市町村間協定などと結びつけて何か出しませんか、と提案することも考える。
事務局	警察、消防、自衛隊、DMATなど受入拠点も対象となることは、県からも情報提供している。
委員	橿原運動公園のDMATは、奈良県として打ち出せる事項だと思う。県としては全市町村の中で、手も上がってこなかったところや、取り下げたところからヒアリングをするなど、手をさしのべてあげた方が、奈良県全体として良い取組みが出るのではないかな。
委員	大和郡山市の三の丸会館は、かなり古いが耐震は大丈夫か。
事務局	平成28年度に耐震補強も一緒にすると聞いている。
委員	前に奈良県内の自治体から街おこしをしたいと相談があった。古い建物で、夏は暑く冬は寒い。人が集まる場所にしたいが対策はないかと。太陽光パネルは設置できないし、小水力発電も無理、建物は何もさわれないとのことだったので、地下を掘って、地中熱空調はどうかと提案した。施工業者は奈良県内にはないかもしれないが、補助もあるし、PRしていただければよいのではないかな。
委員	奈良県としての売りが少ない気がする。ベストプラクティスの様な、県としてここを育てたいとか、モデル地域として基金と補助金をあわせて展開するとか、独自性を出してほしい。焼却場とプールの組み合わせはよくあるが、火葬場は負のイメージだが、そこが防災の時に人の命を守る拠点となる組み合わせはおもしろい。DMATも良い。地中熱補助金を使って総合的に整備し、奈良県の売りがあると良いと思うが。
委員	市町村はどのような所属が担当しているのか。他の部局へ周知すると、もっとアイデアが出てくるのではないかな。三次配分でモデルケースをつくるなど、意欲のあるところに出てきてもらいたい。
委員	環境やエネルギー分野は、横断的な分野なので、市町村の街おこしや観光部署などにも考えてもらうなど、市町村の他部署とも連携して要望を検討してもらいたい。